

# 業績推移(単体情報)

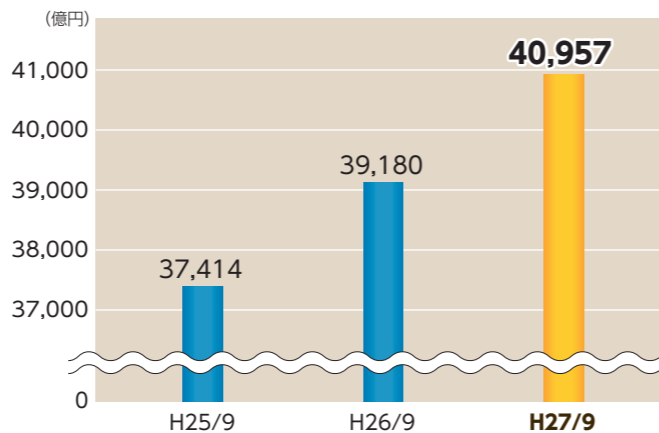
## 業績ハイライト

平成27年9月期の業績につきましては、預金や貸出金の残高は順調に増加しました。また、収益面では、実質業務純益は113億59百万円、経常利益は116億78百万円、中間純利益は79億50百万円となりました。

## 預金残高

**4兆957億円**  
(年間増加率4.5%)

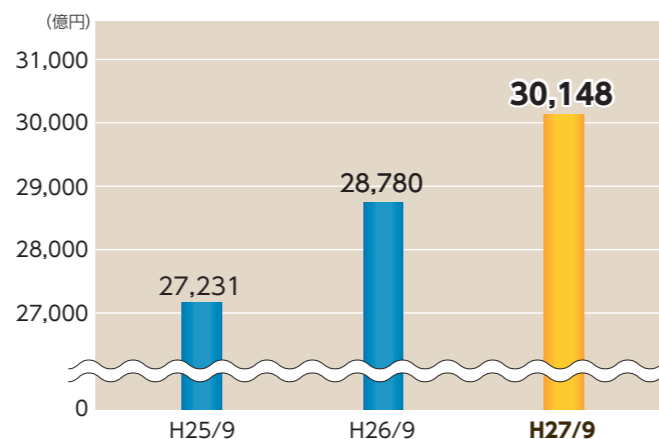
給与振込や年金振込口座の取引拡大に努めた結果、個人預金を中心に前年同期比1,777億円増加し4兆957億円(年間増加率4.5%)となりました。



## 貸出金残高

**3兆148億円**  
(年間増加率4.7%)

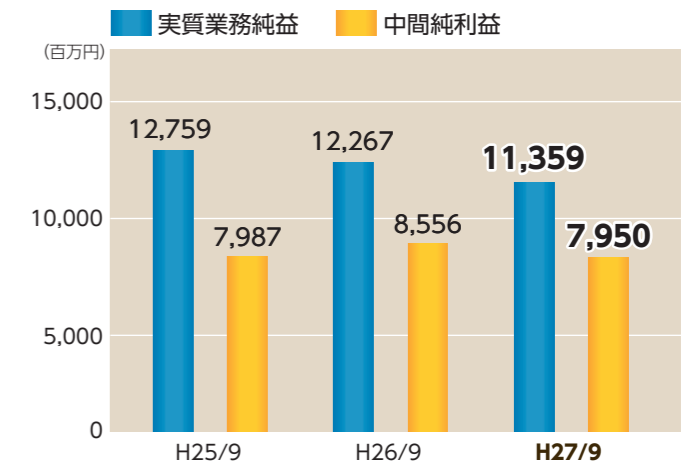
住宅ローンを中心とする個人向け貸出や、中小企業向け貸出の推進に積極的に取り組んだ結果、前年同期比1,367億円増加し3兆148億円(年間増加率4.7%)となりました。



## 実質業務純益・中間純利益

実質業務純益は前年同期比9億7百万円減少し113億59百万円、中間純利益は前年同期比6億6百万円減少し79億50百万円となりました。

$$\text{実質業務純益} = \text{業務純益} + \text{一般貸倒引当金繰入額}$$

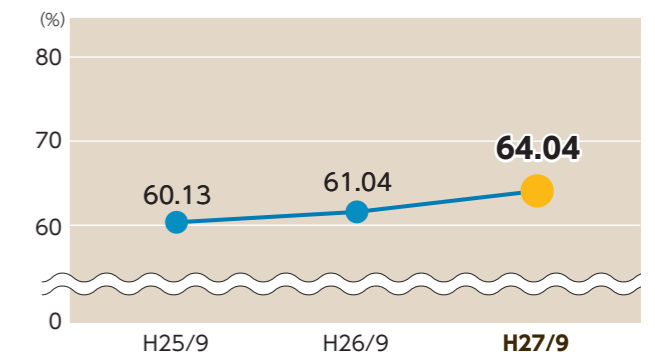


## OHR

千葉みなと本部建設などの積極的な設備投資等により、OHRは上昇しましたが、引き続き低い水準を維持しており、効率的な経営を行っています。

$$\text{OHR} = \frac{\text{経費(臨時的経費を除く)}}{\text{コア業務粗利益}}$$

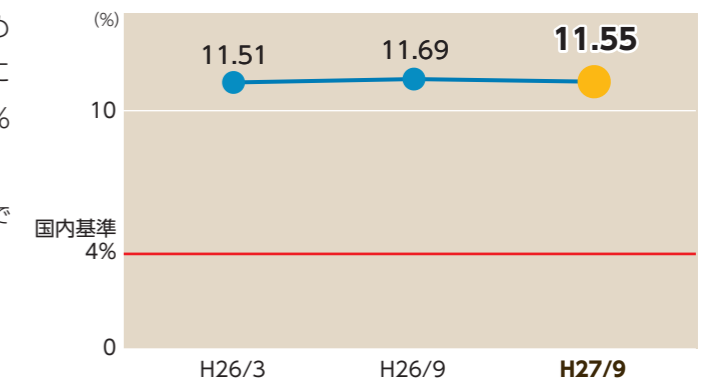
※OHRは、数値が小さいほど効率性が高いことを示します。



## 自己資本比率

自己資本比率は、資本効率の向上を図るため平成27年7月に自己株式の取得をしたこと等により、前年同期比0.14ポイント低下し11.55%となりました。

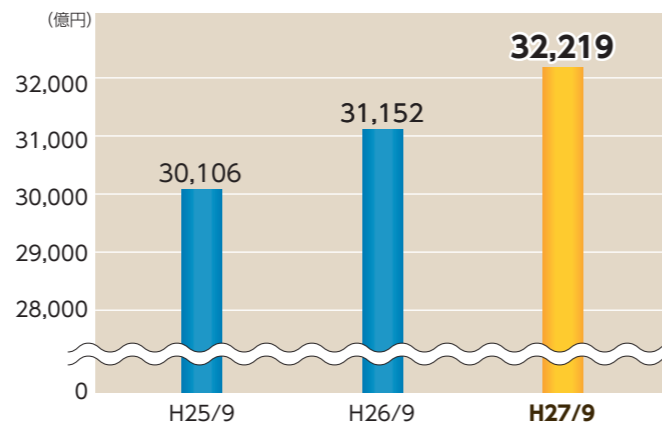
※グラフは新たな国内基準の導入に伴い、比較可能な範囲で示しています。



# 業績推移(単体情報)

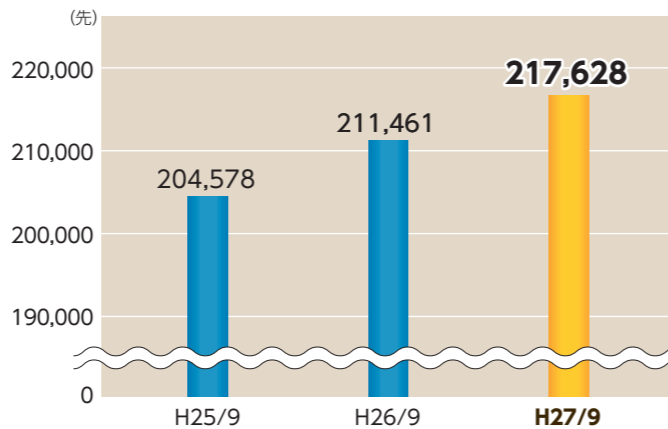
## 個人預金残高

年金受取指定先数および給与振込指定先数が順調に増加したこと等により、個人預金残高は前年同期比1,067億円増加し3兆2,219億円(年間増加率3.4%)となりました。



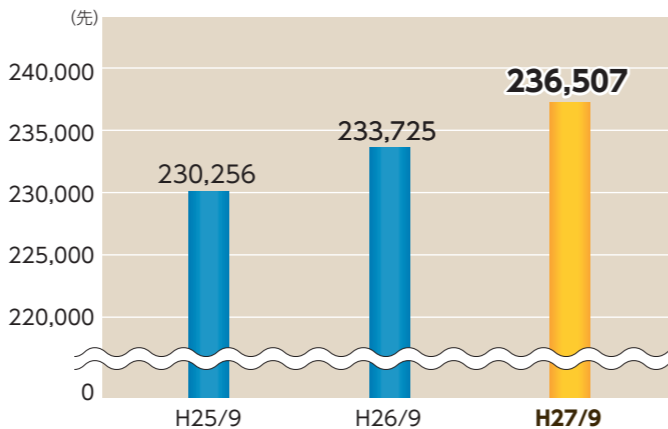
## 年金受取指定先数

社会保険労務士による個別年金相談会や年金セミナーを開催し、複雑な年金制度の説明や年金請求書作成等のサービスなどが、ご好評いただいています。年金受取指定先数は年間で6,167先増加(年間増加率2.9%)しました。



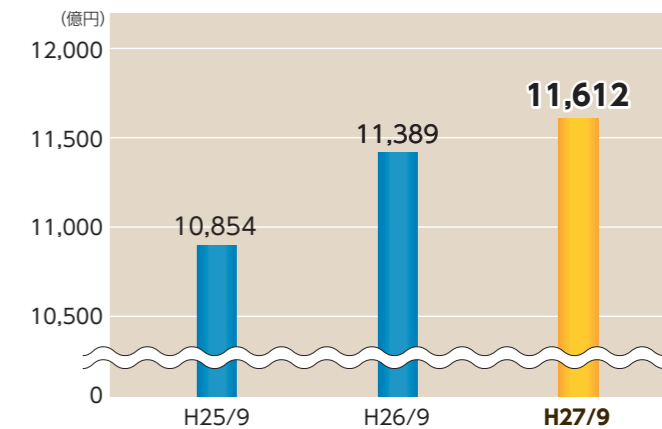
## 給与振込指定先数

住宅ローン等をご利用のお客さまを中心に給与振込のご指定をいただいています。また、若年層の方々に向けた、給与振込のキャンペーンも実施しています。給与振込指定先数は年間で2,782先増加(年間増加率1.1%)しました。



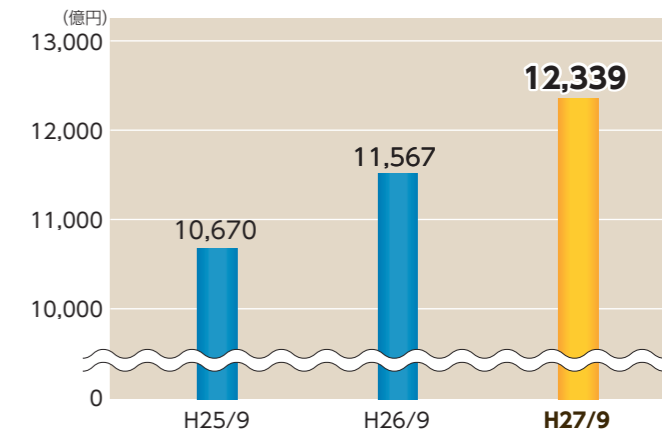
## 中小企業向け貸出金残高

成長分野を中心に中小企業のお客さまへの貸出に積極的に取り組んだ結果、中小企業向け貸出金残高は前年同期比223億円増加し1兆1,612億円(年間増加率1.9%)となりました。



## 住宅ローン残高

新商品「くらしの安心パッケージ」の取り扱いを開始するなど、お客さまの住宅資金ニーズに積極的にお応えした結果、住宅ローン残高は前年同期比772億円増加し1兆2,339億円(年間増加率6.6%)となりました。



## 不良債権比率(金融再生法基準)

お客さまの経営課題に対して経営改善支援等のコンサルティング機能の発揮に努めた結果、金融再生法基準の不良債権比率は前年同期比0.19ポイント低下し1.52%となり、高い健全性を示しております。

